

地域総合

モバイル版茨城新聞配信中

(月額300円+税)



寄稿

小川一成

日本を象徴する花といえは「桜」であり、

100円硬貨の表面にも桜の花が刻まれている。日本人は桜が本当に好きで、毎年、他の空間などに桜を植

桜の開花時期が大きな関心事となり、今、

高速道に桜誘客期待

圏央道の常総インターチェ

まに、桜前線の北上を観をつくりたいという夢を抱いておられます。

政府は、こうした、桜の開き季節に訪日外国人を誘客するためのプロモーションに乗り

桜の開き季節は、旅行者などの高速道路利用茨城から進めていきたくておられます。

先日、東京オリンピック・パラリンピックが開かれる2020年には64万人、30年には6千万人に増やす目標を掲げた観光戦略を示したところであり、

また、観光資源としての価値にとどまらず、桜を維持していくイウェイ緑の里プロジェクトとして行われていると聞いており、

桜の木を植樹することによって、常総市の復興のシンボルにもなるのではないかと考えておられます。

私は、この「高速道路に桜を植えようプロジェクト」の実現に向けて、地域の皆さんと一緒に取り組む、地方創生の一助にしたいと考えておられます。

(県議会議長)

住みよいまちへ女性目線

下妻防災や観光施策提言

女性の視点を施策に生かし積極的な行政参画を図ることを目的に設置された「下妻市まちづくり女性スタッフ」は、市政への提言書を市に提出した。提言書は①地域防災②公共交通③たまり場づくり④観光・産業の活性化の4点からなり、人々にやさしい夢のあるまちを目指した内容となっている。

提言書の提出は同市数須の道の駅しもつま研修室で行われ、関口妙子座長が稲葉本治市長に手渡した。

提言書のうち地域防災では、防災ラジオの全世帯設置の推進や防災士育成へ向けた受験料補助などを提言。公

共交通では、コミュニティバスの導入や児童・生徒の部活動を援助する市バス運行などの提供を要望した。

たまり場づくりでは、地域住民が生きがいと絆を得られるような場を設け、市民の力で運用できる仕組みを提言。観光・産業の活性化では、ナシ狩りなどのイベントと観光スポットを組み合わせ、はとバスなど観光バスを誘致することや大胆なPRをするよう盛り込んだ。

提言を受けた稲葉市長は「住んでよかったと言われるまちづくりに向けて、今後の施策に反映していきたい」と話した。

まちづくり女性スタッフは市が設置し、同市在住か同市内勤務の女性が参加。任期は約2年間で、市政勉強会や施設見学、各種講演会への参加などを通して、市政への提言を行っている。20年前からスタートし、今回のメンバー14人は10期目となる。(中村勉)

求人情報共有し定住促進

大洗町と労働局協定

大洗町を舞台にした人気アニメ「ガールズ&パンツァー(ガルパ)」のファンを中心とした移住希望者や若者などへの就労支援を促進し、町への定住につなげようと、大洗町

は茨城労働局と雇用対策協定を締結した。町と同局が連携して事業を展開するもので、4

月以降に運営協議会を設置し、具体的な取り組みを検討。求人情報共有し、希望者に対して町で情報を提供するなどの取り組みを進めたい考え。

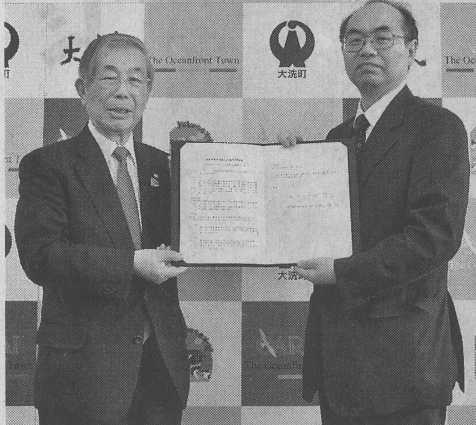
同町磯浜町の町役場で開かれた締結式では、小谷隆亮大洗町長と中屋敷勝也茨城労働局長が協定書に署名。小谷町長は「小さくともキラリと光る町づくりに協力いただきたい」と述べ、中屋敷局長は「仕事と人が集まる好循環の確立に向けて協力したい」と語った。

(成田愛)



稲葉本治市長(右)に提言書を手渡す座長の関口妙子さん=道の駅しもつま

大洗町を舞台にした人気アニメ「ガールズ&パンツァー(ガルパ)」のファンを中心とした移住希望者や若者などへの就労支援を促進し、町への定住につなげようと、大洗町は茨城労働局と雇用対策協定を締結した。町と同局が連携して事業を展開するもので、4月以降に運営協議会を設置し、具体的な取り組みを検討。求人情報共有し、希望者に対して町で情報を提供するなどの取り組みを進めたい考え。

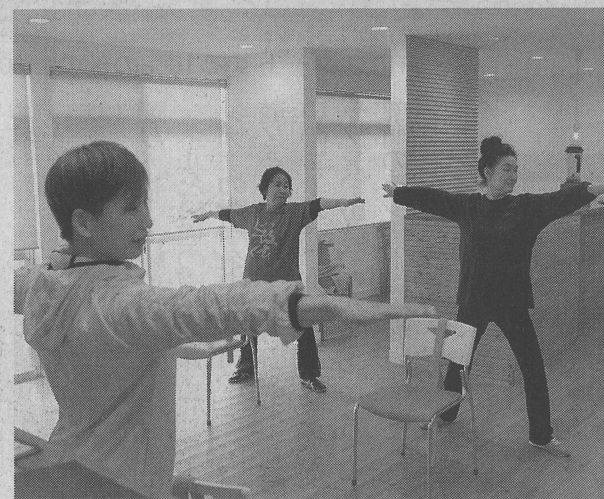


協定を交わす小谷隆亮大洗町長(左)と中屋敷勝也局長=大洗町磯浜町

同町磯浜町の町役場で開かれた締結式では、小谷隆亮大洗町長と中屋敷勝也茨城労働局長が協定書に署名。小谷町長は「小さくともキラリと光る町づくりに協力いただきたい」と述べ、中屋敷局長は「仕事と人が集まる好循環の確立に向けて協力したい」と語った。

(成田愛)

社員寮改装、催事空間に 水戸で体操や工作



共有スペースに改装された部屋で体操を楽しむ参加者ら=水戸市内原町

新しい機能を追加して「ロワークス」(同)とNPO法人「スポーツ&シヨンの魅力に触れてタディクラブ」(同)がもちろつと、2年前に改訂イベントを企画した。改装された水戸市内原町の共有スペースにリノベトワークス内原で、体堂跡では、アロマを使っ実験イベント「ココロのヨガの体験会などが開カラダラトノエル」が開かれた。2階の空き室にs.u.k.u.r.u(つくはパン屋やカフェ、古本を)を楽しむが開かれ、屋などが出店し、来場者親子連れらが体操や工作を楽しませた。

屋外ではウッドデッキシアオフィスは、不を製作するDIY教室が動産総合コンサルタント開かれ、参加者はのこぎのユーハイム(同市)がりの使い方やペンキの塗り方など学んだ。子どもで、企業の社員寮を改もたちは草花を植えたり装した。これを踏ま生ける鉢の製作にも取りえ、建物管理会社「リブ組んだ。(小野寺晋平)



歩行者に配慮をグッズ配り訴え

鉦田で高校生ら

鉦田署(遠藤文志署長)と鉦田市交通安全対策協議会(会長、鬼沢保平市長)などは5日、同市舟木の県道交差点で交通安全キャンペーンを行い、通勤途中のドライバーらに安全運転を呼び掛けた。春の500組を配った。同署交通安全課による

ン(6~15日)の1キャンペーンには鉦田地区交通安全協会(大川瀧男会長)や県立鉦田農高の生徒ら約100人が参加。信号待ちのドライバーに「横断歩行者に配慮して運転を」などと書かれたチラシやティッシュが入った啓発グッズ500組を配った。